

貯 法：室温保存
有効期間：3年

承認番号	16000AMZ04465000
販売開始	1949年11月

寄生性皮膚疾患用剤

日本薬局方 イオウ

イオウ「コザカイ・M」

Sulfur

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

3. 組成・性状

3.1 組成

有効成分	1g中	日局	イオウ	1g
------	-----	----	-----	----

3.2 製剤の性状

性状	淡黄色～黄色の粉末である。
----	---------------

4. 効能又は効果

疥癬、汗疱状白癬、小水疱性斑状白癬、頑癬、頭部浅在性白癬、黄癬、乾癬、座瘡、脂漏、慢性湿疹

6. 用法及び用量

通常、3～10%の軟膏、懸濁液またはローションとして1日1～2回適量を患部に塗布する。

8. 重要な基本的注意

- 患部が化膿しているなど、湿潤、びらんが著しい場合には、あらかじめ適切な処置を行った後使用すること。
- 長期間使用しても症状の改善が認められない場合には、改めて診断し適切な治療を行うことが望ましい。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用すること。

9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
過敏症	過敏症状
皮膚	皮膚炎等
長期・大量使用又は高濃度の使用	皮膚炎

14. 適用上の注意

14.1 薬剤投与時の注意

眼には使用しないこと。

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

硫黄は皮膚表面でも徐々に硫化水素やポリチオン酸、特にペンタチオン酸となり抗菌作用を現すので、寄生性皮膚疾患に奏効する。また皮膚角化に関係があるといわれるSH基をS-Sに変えることによって角質軟化作用を呈する。硫黄の粒子が細くなるほど硫黄の化学変化は促進されるので、コロイド硫黄を用いるとき上記の諸作用は特に顕著に現れ、またアルカリ剤と配合すると角質軟化、殺菌、殺虫作用は増強される¹⁾。

硫黄及び硫化物は、疥癬のつくった疥癬隧道Milbengangを破壊し、虫体並に虫卵は死滅する²⁾。

19. 有効成分に関する理化学的知見

一般的名称：イオウ（Sulfur）

化学式：S

原子量：32.07

性状：淡黄色～黄色の粉末で、におい及び味はない。

二硫化炭素に溶けやすく、水、エタノール（95）

又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。

20. 取扱い上の注意

火気に近づけないこと。

22. 包装

500g [内装：ポリ袋、外装：紙箱]

23. 主要文献

- 第十八改正日本薬局方解説書、廣川書店、2021：C-498-501
- 改訂新版 薬効学、医歯薬出版、1956：410

24. 文献請求先及び問い合わせ先

小堺製薬株式会社 学術情報室

〒130-0026 東京都墨田区両国4-36-9

TEL：03-3631-1495 FAX：03-3631-1457

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元

小堺製薬株式会社

東京都墨田区両国4-36-9